

令和5年度「美術I」シラバス

教科(科目)	単位数	指導学年
芸術(美術I)	2	第1学年

《学習の到達目標》

- ・美術Iでは、中学校美術の学習で身に付けた創造的な表現と鑑賞の力を更に伸ばすことを目的とする。
- ・自分の描いたイメージを表現できる喜びを感じられるようにする。想像力や発想力、構想力をのばし、創造的に表現する。
- ・作品のよさ、作者の心情や、現代美術や伝統的な美術及び地域の美術の特質などを感じ取り、感性や美術を愛好する心を高める。

学期	単元・題材	指導内容・学習内容
1	○オリエンテーション 美術とは何か	・授業内容の説明。自己紹介カードの作成
	○身近なものを描く	・身近なものをよく観察して描く
	○「視点と表し方」絵画 の魅力を考える	・名画がどの視点で描かれているのか、画像を鑑賞し、ワークシートにまとめる
	○『想像を形に』想像の 世界を表そう	・自分の思いを絵に表現する ・自分の想像の世界をワークシートにまとめながら形にしていく
	『デザインの世界』デザ インの広がりを考える	・いろいろなデザインの技法や、画材、作品について学ぶ
	『ポスターで伝える』 (構想)	・ポスターのもつ役割を理解し、構想をワークシートにまとめる
	「色彩。美の秩序、文字 の基本について学ぶ」	・色、文字についての基本的な知識を学び、レタリングなどの美しさを追求する
「ポスターで伝える」 (表現)	・ワークシートにまとめた構想を元に、画用紙の画面構成をする。 色の配置に気をつける	
2	○「日本美術」日本の 美術の良さや特徴を 味わおう	・日本の絵画、屏風、文様などを学ぶ
	○「写真で表す」学校生 活を表す情景を撮ろう	・ファインダー越しに見える情景を撮る。撮る人の思いが写真にどのように表現されているのかを考えながらプリントする
	○『立体表現の魅力』 立体表現の良さや特性 について考える	・有名な彫刻作品や、屋外アートなど画像を通じて立体表現の良さや、特性について考える
	○「塑像で表す」表現の ある手を作ろう	・自分の手をよく観察して、粘土で表現してみる
	○「パッケージデザイ ン」卵や、カップのパッ ケージをデザインする	・商品を消費者にいかに安全に美しく、手にとってもらえるかを考えてデザインする

3	○「映像に包まれて」 人を包み込む映像表現 の良さを鑑賞する	・映像のもつ役割や、どんな種類があるのかを理解し、参考作品を鑑賞する
	『映像で伝えるイメージb』映像で学校の紹介をしよう	・各クラスで制作した映像作品をみんなで鑑賞し、批評を行う。その後ワークシートにまとめる
	視覚トリックを生かして不思議な情景を描く	・トリックアートの世界を教科書 P129 を参考にしながら、ワークシートに描いてみる
	1年間の総まとめ	・1年間の美術の内容を振り返り、生徒作品の鑑賞と批評を行い、ワークシートにまとめる

《評価の観点》

- ・美術を愛好し、美術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、その喜びを味わおうとする。
 - ・感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、自分なりに表現しようと工夫している。
 - ・創造的な美術表現をするために必要な技術を身に付けている。美術を幅広くとらえ理解し、その意味を自分なりに考えながら、鑑賞ができる。
- ※以上の4つの観点を規準とし、提出してもらったプリントや作品、授業に取り組む姿勢をもとに評価する。

《評価において重視する点》

- ・基本的にはものをよく視たり、よく聴いたりする能力について評価し、伸ばしていきたいと考えます。ものごとをひとつの方向からではなく、さまざまな視点からみることによって豊かな心や思いやりを身に付けるきっかけとしてほしい。
- ・ものや作品を大事にすることを通して、自分自身や自分の周りの人自体も大切にできるような心情を伸ばし、育みたいと考える。
- ・日常生活の中だけでもさまざまな美術にふれられることを理解してもらい、今後の生活にも自然と豊かさを見いだせるような心情を養いたい。
- ・生徒の中には、上手に描かなければいけないという思いが強かったり、自分は絵が下手だと思いついてしまったりする機会が多いように感じられます。大勢の人からみて上手に描いたり、つくったりすることではなく、自分なりの表現を見つけて楽しむことが大切だということを学んでもらいたい。